

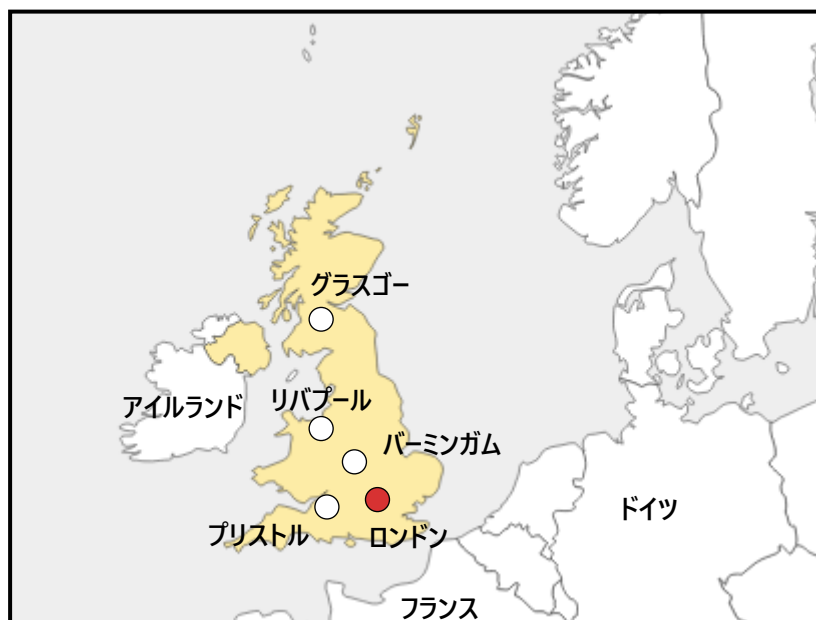
スポーツ産業国際展開カントリーレポート

スポーツ産業の市場環境等に関する基本情報



グレートブリテン及び北アイルランド連合王国

The United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland



都市名	人口 (万人)
ロンドン	814
グラスゴー	120
バーミンガム	108
リバプール	55
ブリストル	54

出所) 国際連合「Demographic Yearbook System」(2020年時点)

目次

スポーツ関連

【市場情報】

- スポーツ産業市場規模推移 2
- スポーツ産業従業者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上 3
- 主要コンテンツ市場情報 4

【スポーツ習慣】

- 現地で盛んな競技 5,6
- 一人当たりスポーツ支出 7
- 主なスポーツリーグ 8
- 主なスタジアム 9

【業界情報】

- 日本のクラブチームとの連携クラブ概要 10
- 現地主要企業 11,12
- 教育分野におけるスポーツの活用動向 13
- スポーツ産業に係る日本企業の進出状況 14
- スポーツテック分野スタートアップへの投資動向 15

【展示会、国際競技大会等開催情報】

- 商談会・展示会開催情報 16
- 国際競技大会開催情報 18

【政策動向】

- スポーツ基本計画概要 19
- SDGsへのコミットメント、SDGs×スポーツの取組 20

一般概況

【経済】

- 人口動態、および人口成長率・年齢別人口構成 23
- GDP、GDP成長率、一人当たりGDP 24
- 世帯所得分布 25

【健康・医療】

- 医療費支出 26
- 疾病構造・死亡要因 27

【規制】

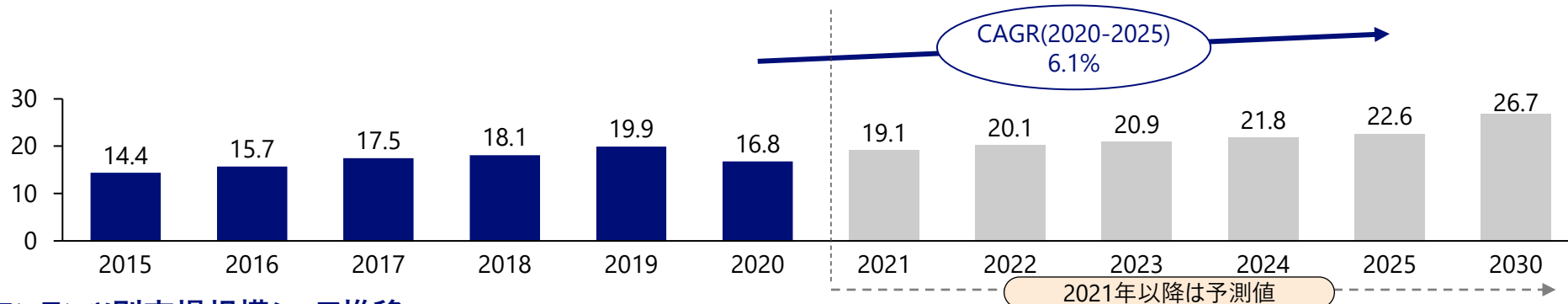
- 外資に関する規制 28

スポーツ産業市場規模推移

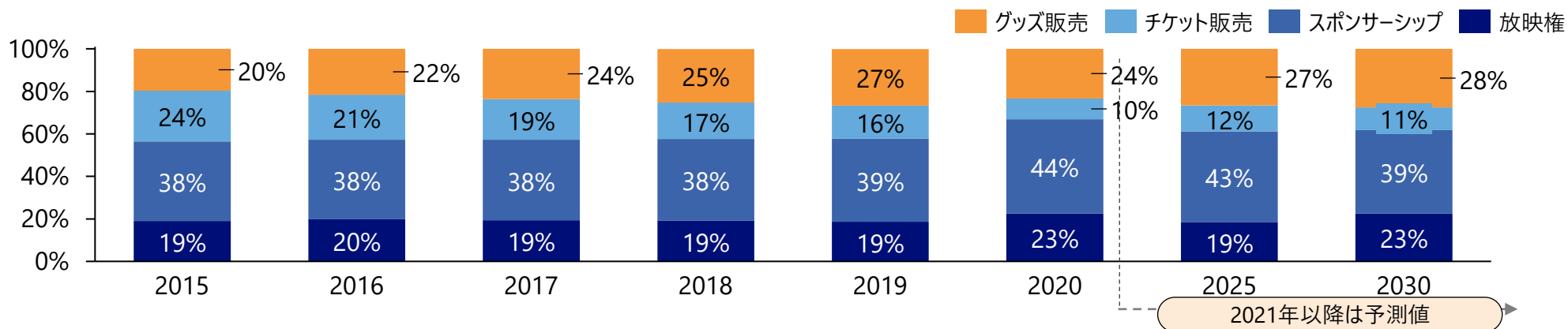
- 2020年のイギリスにおけるスポーツ産業市場規模は約168億ドル（約2兆5,120億円）であり、2025年にかけて年平均成長率6.1%での成長が予測されている。
- ボクシング、レスリング等のスポーツの人気が高まりや、国内でのスポーツクラブへの投資の増加が今後の成長要因だと予測されている。

スポーツ産業市場規模推移

(US10億 \$)



コンテンツ別市場規模シェア推移



(出所) Sports Global Market Opportunities And Strategies To 2030

スポーツ産業従業者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上

- イギリスにおけるスポーツ産業の従業者数割合は0.26%。
- スポーツ産業における1事業者当たりの売上は約3,105万円であり、フランス、韓国に近い水準となっている。

スポーツ産業従業者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上

国	スポーツ産業 従業者数割合 (%)	スポーツ産業事業者数	1事業者当たりの売上 (ドル)
サウジアラビア	0.30%	25,467	122,437
イギリス	0.26%	72,371	231,733
アメリカ	0.22%	43,441	2,823,163
シンガポール	0.16%	996	1,851,950
韓国	0.13%	24,357	272,094
フランス	0.13%	34,663	276,974
フィリピン	0.12%	7,802	196,463
日本	0.10%	20,164	1,254,952
インドネシア	0.09%	86,631	37,777
中国	0.08%	160,508	342,474
タイ	0.08%	14,659	145,558
ベトナム	0.05%	1,821	450,457
インド	0.05%	173,683	16,521
オーストラリア	0.03%	3,036	1,946,384

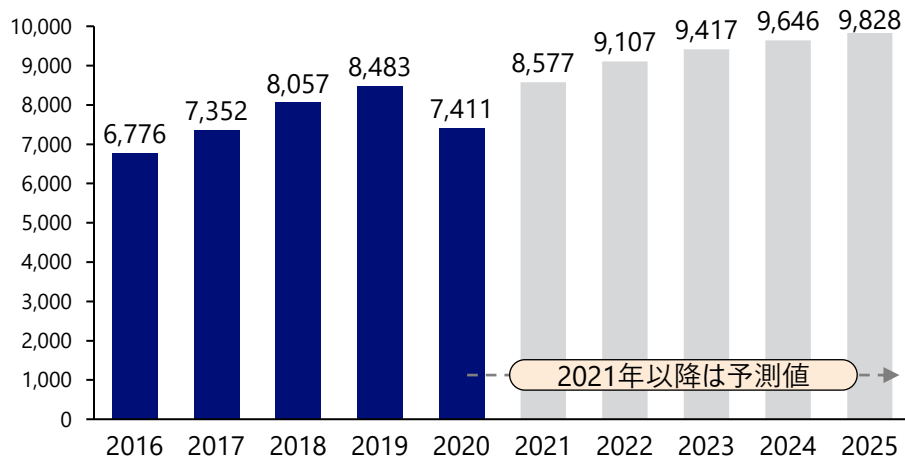
※...「一人当たりスポーツ支出」は2020年の値。「スポーツ産業従業者数割合」は全人口に対するスポーツ産業従業者数の割合

主要コンテンツ市場情報 (スポーツウェア、フィットネス市場)

👕 スポーツウェア市場

- 2020年は新型コロナウイルスの影響で市場が落ち込んだが、利便性に長けたパーカーやトレーナー等のスポーツウェアは、他のアパレルカテゴリーよりも需要の回復が早く、今後も成長の継続が予想される。
- 靴類は、スポーツウェアの中で最も成長しているカテゴリーであり、2016年から2021年の間でCAGRは平均7%を記録し、2021年度には、市場規模が34億7,400万ポンド(約5,800億円)に達した。
- 環境保護、倫理への国民の意識は高く、これらの問題に配慮したブランドの需要が高まりつつある。

スポーツウェア市場規模推移(2020年、百万USD)

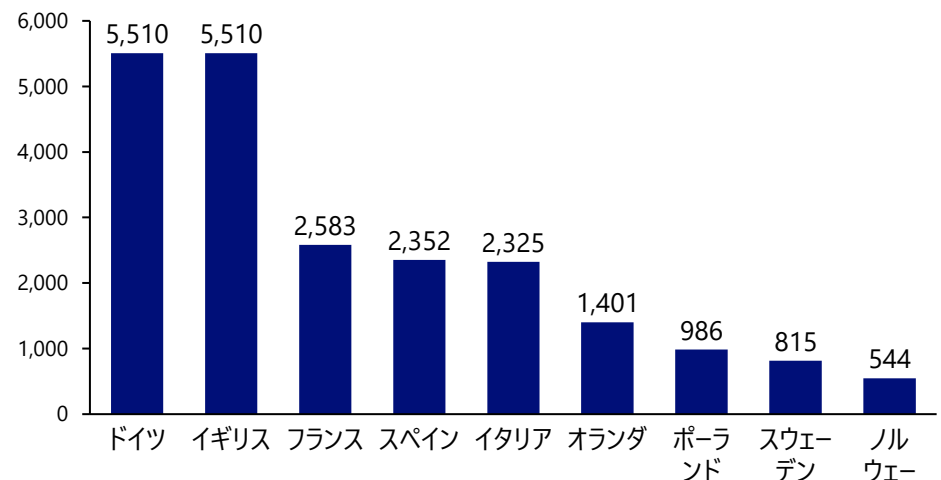


(出所) Euromonitor International PassportよりNRI作成

🏃 フィットネス市場

- イギリスのフィットネス市場規模は約55億1千万ユーロ(約7,800億円)であり、ドイツと並び、欧州最大規模の市場。
- 2021年には消費者の14%がフィットネス施設の会員であり、2019年の18%から減少している。
- インフレ圧力により、消費者は支出を削減しているが、フィットネスクラブ市場は今後、若年世代での運動習慣の定着に伴い、さらに拡大することが予想される。
- デジタルツールを活用した自宅でのトレーニングプログラムは、コロナ禍を経て利用率が上昇し、人気を維持している。

ヨーロッパ各国のフィットネス市場規模(2019年、百万ユーロ)



(出所) Sports Global Market Opportunities And Strategies To 2030, The European Fitness Market at a Glance よりNRI作成

現地で盛んな競技 (1/2)

- 国内の人気スポーツとしてサッカー、ラグビー、ホッケー、クリケット、水泳、テニスなどが挙げられる。サッカーは最も人気があり、ラグビーは政府がスポンサーとなっている。また、クリケットはナショナルスポーツとして親しまれている*。
- 国際大会で好成績を収めているスポーツは、競泳、自転車競技、ボクシングである**。

2020東京オリンピックにおけるイギリスの競技別メダル獲得数

競技	メダル総数	金	銀	銅
自転車競技 (トラック)	7	3	3	1
ボクシング	6	2	2	2
セーリング	5	3	1	1
馬術	5	2	1	2
陸上競技	5	0	2	3
トライアスロン	3	1	2	0
飛込	3	1	0	2
テコンドー	3	0	2	1
近代五種	2	2	0	0
自転車競技 (BMXレーシング)	2	1	1	0
自転車競技 (トラック)	7	3	3	1

競技	メダル総数	金	銀	銅
自転車競技 (BMXフリースタイル)	2	1	0	1
体操競技	2	1	0	1
ボート	2	0	1	1
ウエイトリフティング	1	0	1	0
カヌー (スラローム)	1	0	1	0
カヌー (スプリント)	1	0	0	1
自転車競技 (マウンテンバイク)	1	1	0	0
柔道	1	0	0	1
スケートボード	1	0	0	1
トランポリン	1	0	0	1
ホッケー	1	0	0	1

*Sports Global Market Opportunities And Strategies To 2030

** Olympics.com「メダル順位」より

現地で盛んな競技 (2/2)

2020東京パラリンピックにおけるイギリスの競技別メダル獲得数

競技	メダル総数	金	銀	銅
水泳	26	8	9	9
陸上競技	24	9	5	10
自転車競技 (トラック)	14	6	6	2
自転車競技 (ロード)	10	4	5	1
馬術	8	3	3	2
カヌー (スプリント)	7	3	1	1
卓球	7	0	2	5
車いすフェンシング	5	1	1	3
車いすテニス	4	0	2	2
トライアスロン	3	1	1	1

競技	メダル総数	金	銀	銅
パワーリフティング	3	0	0	3
アーチェリー	2	1	0	1
柔道	2	1	1	0
テコンドー	2	0	1	1
バドミントン	2	0	1	1
ボート	2	2	0	0
車いすバスケットボール	1	0	1	1
車いすラグビー	1	1	0	0
ボッチャ	1	1	0	0

一人当たりスポーツ支出

■ 2020年のイギリスにおける一人当たりスポーツ支出は約249.4ドル(約33,400円)。

一人当たりスポーツ支出 (国別)

国	一人当たり スポーツ支出 (ドル)
アメリカ	371.6
シンガポール	319.7
イギリス	249.4
オーストラリア	229.7
日本	201.2
フランス	147.7
韓国	128
サウジアラビア	89.7
中国	39.1
タイ	30.6
フィリピン	14.1
インドネシア	12.1
ベトナム	8.4
インド	2.1

※「一人当たりスポーツ支出」は2020年の値。

主なスポーツリーグ

- クリケットのカウンティ・チャンピオンシップは1890年より行われており、サッカー、ラグビー、バスケットボールのプロリーグが1980-90年代より活動している。

イギリスにおける主なスポーツリーグ

リーグ名称	競技	設立年	チーム数	開催時期	観客動員数*	主要チーム**	主要スポンサー***
Premier League	サッカー	1992	20	8月~5月	約1500万人	<ul style="list-style-type: none"> Arsenal Chelsea Manchester City Manchester United 	<ul style="list-style-type: none"> Barclays Budweiser Castrol Oracle
County Championship	クリケット	1890	18	6月~8月	約170万人	<ul style="list-style-type: none"> Derbyshire Durham Essex Glamorgan 	<ul style="list-style-type: none"> Specsavers Liverpool Victoria Royal London Lord's Lifebuoy
The Super League	ラグビー	1996	12	2月~10月	約146万人	<ul style="list-style-type: none"> Castleford Tigers Catalans Dragons Huddersfield Giants Hull Kingston Rovers 	<ul style="list-style-type: none"> Betfred Skysports Northern Steeden
British Basketball League	バスケットボール	1987	10	9月~4月	不明	<ul style="list-style-type: none"> Bristol Flyers Caledonia Gladiators Cheshire Phoenix London Lions 	<ul style="list-style-type: none"> Ipro Opro Molten UK Sport

*直近のシーズンにおける観客動員数

**直近のシーズンにおける順位上位チームを記載

***リーグの主要スポンサー企業を記載

主なスタジアム

イギリスにおける主なスタジアム

スタジアム名	都市	収容人数	設立年
Wembley Stadium	ロンドン	90,000	2007
Twickenham	ロンドン	82,223	1908 (改修：2014)
Principality Stadium	カーディフ	74,500	1999
Old Trafford	マンチェスター	74,140	1910 (改修：2006)
BT Murrayfield	エジンバラ	67,144	1925 (改修：1994)

(出所) World Stadiums

日本のクラブチームとの連携クラブ概要

日本のクラブとの協定締結等が確認されるクラブの主要スポンサー、オーナー

リーグ名 (競技)	クラブ名	主要スポンサー企業	オーナー	連携先日本リーグ・クラブ
プレミアリーグ (サッカー)	Southampton FC	Sportsbet.io, Hummel, JD, EcoWatt, Starling Bank, eToro, Kingfisher, Monster Energy, Vitality, Utilita, Acronis	The Sport Republic group * チェアマンのDragan Solakは南欧・東欧の通信メディアプラットフォームを管理するUnited Groupの会長	清水エスパルス

現地主要企業 (フィットネス業界)

現地主要企業 (フィットネス業界)

企業名称	カテゴリ	売上* (百万円)	概要
The Gym Ltd	フィットネスクラブ	17,732	フィットネスクラブ、スパ等の施設を運営し、エアロビックダンスやエクササイズのレッスンも提供。
Chartmix Ltd	フィットネスクラブ	11,389	イギリス国内外で、レジャー施設およびフィットネスクラブを運営。フィットネスクラブでは、水泳、ラケットスポーツ、ヨガ、減量、等さまざまなクラスを提供。
Bannatyne Fitness Ltd	フィットネスクラブ	11,248	フィットネスクラブ運営会社。本社はダーリントンにあり、世界60の地域に展開し、18万人以上の会員が加入。
Total Fitness Health Clubs Ltd	フィットネスクラブ	4,644	エステサロン、フィットネスセンターを主に運営。
Rose Bowl plc	フィットネスクラブ	2,923	ゴルフ & カントリークラブ、ヘルス & フィットネスセンター、スポーツ & エンターテイメントセンター、スポーツアカデミー、スポーツスタジアムを運営。
Chesterfield FC Community Trust	フィットネスクラブ	2,084	チェスターフィールドフットボールクラブと緊密に協力し、多くのリソースを共有。フィットネス施設や青少年向けのサッカートレーニングプログラムを展開。
JD Sports Gyms Ltd	フィットネスクラブ	2,059	水泳、スケート、ラケットスポーツなどのレクリエーションスポーツ活動の特徴とするフィットネス施設を運営。
Sports & Leisure Group Ltd	フィットネスクラブ	1,419	フィットネスセンターを主に運営。
Canada Square Health & Fitness Ltd	フィットネスクラブ	1,172	ロンドンを拠点として、フィットネスセンターを運営。
Holmes Place Health Clubs Ltd	フィットネスクラブ	808	1980年にロンドンで設立され、フィットネスセンターを運営。

* Sports & Leisure Group Ltdのみ2020年度の売上、その他の企業は2021年度の売上
(出所) SPEEDAよりNRI作成

現地主要企業 (スポーツ用品)

現地主要企業 (スポーツ用品)

企業名称	カテゴリ	売上 (百万円、2019年度)	概要
JD Sports Fashion PLC	スポーツ用品	1,303,970	32地域で3400店舗を展開するスポーツウェアの小売業者。
Frasers Group PLC	スポーツ用品	725,058	イギリスを拠点とするスポーツ用品の小売業者。
Go Outdoors Retail Ltd	スポーツ用品	22,518	アウトドア用品を扱う小売業者。
Hy-Pro	スポーツ用品	2,538	アウトドア向けの幅広い製品の製造・販売業者。
AMERICAN GOLF (TRADING) LIMITED	スポーツ用品	-	スポーツ用品、釣り具、キャンプ用品、ボート・自転車の小売業者。
Blacks Leisure Group PLC	スポーツ用品	-	アウトドア向け衣料および用品の小売に従事。
Braemar Mountain Sports Ltd	スポーツ用品	-	登山およびスキー用品の小売業者。
Decathlon UK	スポーツ用品	-	70以上のスポーツの用品と衣類を取り揃えるスポーツ小売業者。
Diamond Touch Golf Ltd	スポーツ用品	-	ゴルフクラブの製造・小売業者。
Direct Golf UK Ltd.	スポーツ用品	-	ゴルフのクラブ、関連用具、衣料品の小売業者。
DOUG MCCLELLAND GOLF STORES LIMITED	スポーツ用品	-	スポーツ用品、釣り具、キャンプ用品、ボート、自転車などの小売業者。

教育分野におけるスポーツの活用動向

Sport and music education

- 英国の教育省は、他の省庁と協力して、音楽教育とともにスポーツ教育への投資を発表した。
- 英国政府の発表によると、これらの投資はすべての子供たちに充実した学校カリキュラムを提供し、機会と教育成果のレベルアップを支援するという学校の白書の誓約に基づいているとされる。
- 学生が活動的になり、健康を維持するためのさらなる機会も、PE およびスポーツ プレミアムの資金提供を通じて利用できるようになっており、より多くの子供たちが質の高い体育のレッスンやスポーツの機会にアクセスできるようになり、身体的および精神的な健康をサポートしている。

Active Partnership Network

- 学校のスポーツと活動に関する行動計画の一環として、イギリス政府の教育長官は、より良いスポーツ活動と教育のための資金を提供し、それによりイングランド全土の19 地域の学校がスポーツ組織と協力して、学校のスポーツ施設を屋外で使用する機会を増やすことも含まれている。
- Sport England が支援する Active Partnership Network は、学校と地元のスポーツ提供者とのパートナーシップを確立し、楽しく魅力的なスポーツ大会、放課後のクラブ、休日の活動のためにスポーツ施設を開放することを奨励しており、幼い頃から子供たちを活動的にさせることは、自信をつけ、貴重なライフスキルを学ぶのに役立つと考えている。

スポーツ産業に係る日本企業の進出状況

- ゴルフ用品を扱う企業、ダンス用品を扱う企業等が進出している。

スポーツ産業に係る日本企業の進出状況

現地法人名	日本側の主な出資企業	資本金（ポンド）	出資比率（％）	従業員数	事業内容
Srixon Sports Europe Ltd.	住友ゴム工業	754	100	不明	ゴルフボール、クラブ等の販売
Daiwa Sports Ltd.	グローブライド	300	100	137	釣り用具、ゴルフ用品の製造・販売
Freed of London Ltd.	チャコット	249	100	不明	バレエ・ダンス用品の製造・販売
Wacoal Europe Ltd.	ワコールホールディングス	17	100	不明	女性用インナーウェア、水着製品の製造・販売
Asics UK Ltd.	アシックス	不明	100	不明	スポーツ用品等の販売

（出所）東洋経済新報社『海外進出企業総覧（国別編）』（2022年）よりNRI作成

スポーツテック分野スタートアップへの投資動向

- 近年では、データ分析を可能とするウェアラブルデバイスの開発・提供を行うスタートアップ等への投資事例が多く確認されている。

スポーツテック分野スタートアップへの主な投資事例

企業名	調達年月	設立年度	企業概要	調達額
Playermaker	2022年7月	2002	・サッカーに特化した分析を提供するためのウェアラブルデバイス。足とボールの相互作用の検出するオンフットウェアセンサーを提供。	4,000万米ドル
Let's Do This	2022年6月	2017	・ランニング、トライアスロン、デュアスロン、サイクリング、障害物コース、水泳など大衆参加型スポーツイベントの情報を掲載するサービス「Let's Do This」を提供	6,000 万米ドル
Carv	2022年1月	2013	・Carvは、スキーに特化した初のウェアラブルなデジタル・スキー・コーチ。 ・超薄型スマートインサートにより、Carvはユーザー動きと圧力の分布を測定し、イヤホンを通してリアルタイムにフィードバックを提供。	510 万米ドル
PickGuru	2021年11月	2021	・Pickguru は、ファンがさまざまな楽しいスポーツ予測ゲームに参加できるソーシャルゲームプラットフォーム。	260万ポンド
DataPowa Limited	2021年5月	2016	・ビッグデータを用いてスポンサー広告の価値を算出・最適化するソリューション。	1,200万米ドル

商談会・展示会開催情報

■ イギリスでは、国内各地で、例年多くの商談会・展示会が開催されている。

イギリスで開催されるスポーツ関連の商談会・展示会（1/2）

イベント名	開催地	主催者	開催頻度	主要コンテンツ
Leaders Week London	ロンドン	LEADERS UK	毎年	欧米スポーツ界における各種最先端トピック
BLE 2023 - Brand Licensing Europe	ロンドン	Informa Markets	毎年	アニメーション、アートとデザイン、スポーツ、出版、ゲーム
AUTOSPORT INTERNATIONAL SHOW	バーミンガム	Haymarket Exhibitions Ltd.	毎年	カーレース関連製品
TELEGRAPH HOLIDAY WORLD SHOW – BELFAST	ベルファスト	Business Exhibitions Ltd.	毎年	旅行、レジャー
MCN LONDON MOTORCYCLE SHOW	ロンドン	Bauer Consumer Media Ltd.	毎年	モーターサイクル
SMMEX (SPORTS MERCHANDISE AND MARKETING EXHIBITION)	ロンドン	Thirty Forty Nine Ltd.	毎年	スポーツ用品
ADVENTURE TRAVEL SHOW	ロンドン	Upper Street Events Ltd	毎年	アウトドア・アドベンチャー関連製品
THE SCOTTISH MOTORCYCLE SHOW	エジンバラ	Live Promotions Events Ltd	毎年	モーターサイクル
INTERNATIONAL SPORTS CONVENTION (ISC)	トッテナム	International Sports Convention (ISC)	毎年	幅広いスポーツ関連製品
THE CYCLE SHOW	ロンドン	Upper Street Events Ltd	毎年	あらゆるカテゴリーの自転車
TRUCKFEST PETERSBOROUGH	ピーターバラ	Live Promotions Events Ltd	毎年	トラック、大型バギー

商談会・展示会開催情報

イギリスで開催されるスポーツ関連の商談会・展示会（2/2）

イベント名	開催地	主催者	開催頻度	主要コンテンツ
ESPORTS VENUE SUMMIT	不明	Alad Ltd	毎年	eスポーツ
ROYAL WINDSOR HORSE SHOW	ウインザー	Royal Windsor Horse Show The Royal Mews	毎年	乗馬競技
TRUCKFEST NORTH EAST	ウォルシンガム	Live Promotions Events Ltd	毎年	トラック、大型バギー
TRUCKFEST WEST MIDLANDS	マルバーン	Live Promotions Events Ltd	毎年	トラック、大型バギー
TRUCKFEST SCOTLAND	エジンバラ	Live Promotions Events Ltd	毎年	トラック、大型バギー
TRUCKFEST SOUTH EAST	アーディングリー	Live Promotions Events Ltd	毎年	トラック、大型バギー
TRUCKFEST SOUTH WEST	シェプトン・マレット	Live Promotions Events Ltd	毎年	トラック、大型バギー
THE YACHT MARKET.COM SOUTHAMPTON BOAT SHOW	サウサンプトン	British Marine Federation / National Boat Shows	毎年	ウォーターボートショー、ボート、 ウォータースポーツ
TRUCKFEST NORTH WEST	ナッツフォード	Live Promotions Events Ltd	毎年	トラック、大型バギー
TRUCKFEST ORIGINAL	ニューアーク・オン・ トレント	Live Promotions Events Ltd	毎年	トラック、大型バギー
THE LONDON SKI & SNOWBOARD FESTIVAL	ロンドン	Smart Group Ltd.	毎年	スキー、スノーボード

国際競技大会開催情報

- 2023年には、自転車競技、体操、カヌーの国際大会が行われる。
- ラグビーのSix Nations は毎年開かれており、試合の一部はイギリスの会場で行われる。

イギリスで開催予定の国際競技大会

大会名	開催期間	主催者	参加国数	参加選手数	摘要
Six Nations	2023年2月4日～ 2023年3月18日	—	6	138	毎年開催 (アイルランド、フランス、イタリアと共催)
UCIロード世界選手権大会	2023年8月3日～ 2023年8月13日	国際自転車競 技連合	—	—	4年毎の開催
世界トランポリン選手権 大会	2023年11月9日～ 2023年11月12日	国際体操連盟	60	330	五輪開催年を除き毎年開催
世界トランポリン 年齢別選手権大会	2023年11月16日～ 2023年11月19日	国際体操連盟	40	850	毎年開催
ICFカヌー-sラーム 世界選手権	2023年	国際カヌー連盟	—	—	五輪開催年を除き毎年開催

(出所) スポーツ庁「国際交流状況等調査」、Tepend Sports「Calendar of Major Sporting Events for the upcoming years」よりNRI作成

スポーツ基本計画概要

- イギリス選手の国際大会でのさらなる活躍及びイギリスでの多数の国際大会の開催を実現するための計画が制定されている。

イギリスにおけるスポーツ基本計画概要

計画名称	Powering Success Inspiring Impact
策定年	2021年
計画概要	2031年までの10年間で、国際大会でのさらなる選手の活躍及び多数の国際大会の開催を通じて、社会の繋がりを強めることが目指されている。
主要目標・施策	<ul style="list-style-type: none">• 主な目標は三つ挙げられる。<ol style="list-style-type: none">1. 「Keep winning and win well」: これまで以上に多くのチャンピオンやメダリストを輩出し、人々が最高のパフォーマンスを発揮する機会を確保する。2. 「Grow a thriving sporting system」: イギリス全土のスポーツコミュニティがこれまで以上に協力的になり、多様で倫理的かつ持続可能なアジェンダを設けることへのサポートをする。3. 「Inspire positive change」: スポーツの力とプラットフォームを活用して、ポジティブな変化を促し、より幸福で誇り高く、人々がつながれた社会を実現する。• 主な施策としては、57のスポーツに携わるアスリートが北京、パリ、そしてその先で成功を収められるよう、3億8500万ポンドの投資が行われる。
主要KPI	<ul style="list-style-type: none">• 2025年までに、以下のKPIの達成が目指される。<ol style="list-style-type: none">1. 世界選手権の大会を10回開催する。2. 25以上のスポーツにおいて、30以上の欧州および世界シリーズイベントを開催し、7000万ポンドの経済効果を創出する。

SDGsへのコミットメント・取組

政府によるSDGsに関する取組

- SDGsの達成度合いを示すランキングでは、世界11位。
- 達成度合いが高い項目は「強靱なインフラ、工業化・イノベーション」である。
- 特に課題が残る項目は「飢餓撲滅、食料安全保障」、「持続可能な消費と生産」、「気候変動への対処」、「実施手段の強化と持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップの活性化」である。

SDGs17ゴールの達成状況



- : SDGsを達成している
- : 課題が残る
- : 重要課題が残る
- : 主要課題が残る
- : 情報入手不可
- ↑ : SDGs達成の見込み、または達成している
- ↗ : 穏やかに改善
- : 停滞
- ↓ : 悪化
- : 傾向把握不可

女性の活躍推進に関する取組

政府によるジェンダー平等に関する取組

- Sustainable Development Report 2023によると、「ジェンダー平等」の項目は、若干の課題が残っている状況
- 「ジェンダー平等」に係る要素のうち、下記の項目は達成している。
 - 近代的手法によって、家族計画についての自らの要望が満たされている出産可能年齢（15～49歳）にある女性の割合
 - 教育を受けた平均年数の男女比
 - 労働力率の男女比
- 「ジェンダー平等」に係る要素のうち、下記の項目は達成できていない。
 - 女性議員の議席数
 - 男女の賃金格差

女性の活躍推進×スポーツの事例

- 「Big Sister」プロジェクト（2022年～）
 - 「Big Sister」プロジェクトは、思春期の女の子のスポーツや身体運動への参加を促進・支援することを目的とし、チャリティー団体「Women in Sport UK」が主導するプロジェクトである。
 - Big Sisterはパートナーやアンバサダーと協力し、女の子のスポーツへの参加を阻む障壁に対処する実践的な介入策を提供している。具体的には、下記のような施策を行っている。
 - 貧困地域のレジャーセンターでスポーツや運動プログラムを利用できる女の子のための無料のメンバーシップ
 - アプリを通じて全国の女の子がアクセスできるオンラインワークアウトクラスの提供
 - 思春期や生理に関する障壁を取り除き、女の子がスポーツや運動に参加するための教育
 - ボランティアの「お姉さん」アンバサダーを教育・訓練し、女の子とのつながりやサポートを支援
 - 女の子が思春期にスポーツや運動に取り組むために必要な知識やサポートを得るための物理的・デジタルリソースの提供
 - 思春期に活躍する女の子のサポート・支援ができるスポーツ指導者の教育・支援

出所) Sustainable Development Report
Women in Sport 「BIG SISTER」



▲BIG SISTER HP内記事の一例

持続可能な都市に関する取組

政府による「持続可能な都市」に関する取組

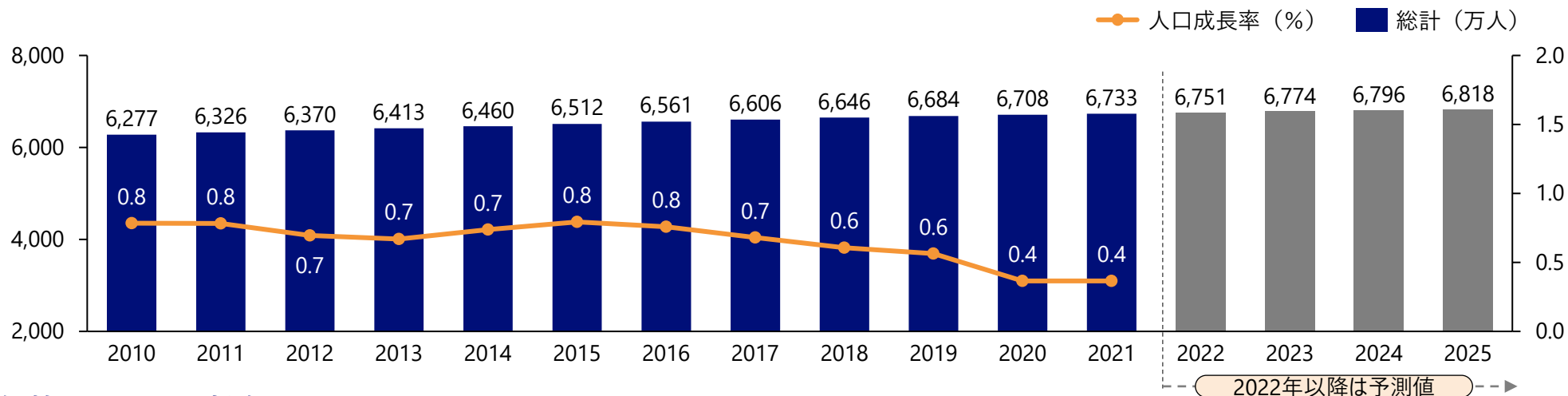
- Sustainable Development Report 2023によると、「持続可能な都市」の項目は、課題が残っている状況である。
- 「持続可能な都市」に係る要素のうち、下記の項目は達成している。
 - 都市人口に占めるスラム居住者の割合
 - PM2.5の年間平均濃度
 - 改善された水道・水源へのアクセス
 - 徒歩15分以内に名所にアクセスできる人口の割合
- 「持続可能な都市」に係る要素のうち、下記の項目は達成できていない。
 - 公共交通機関の満足度
 - 過剰な家賃を支払っている人口

持続可能な都市×スポーツの事例

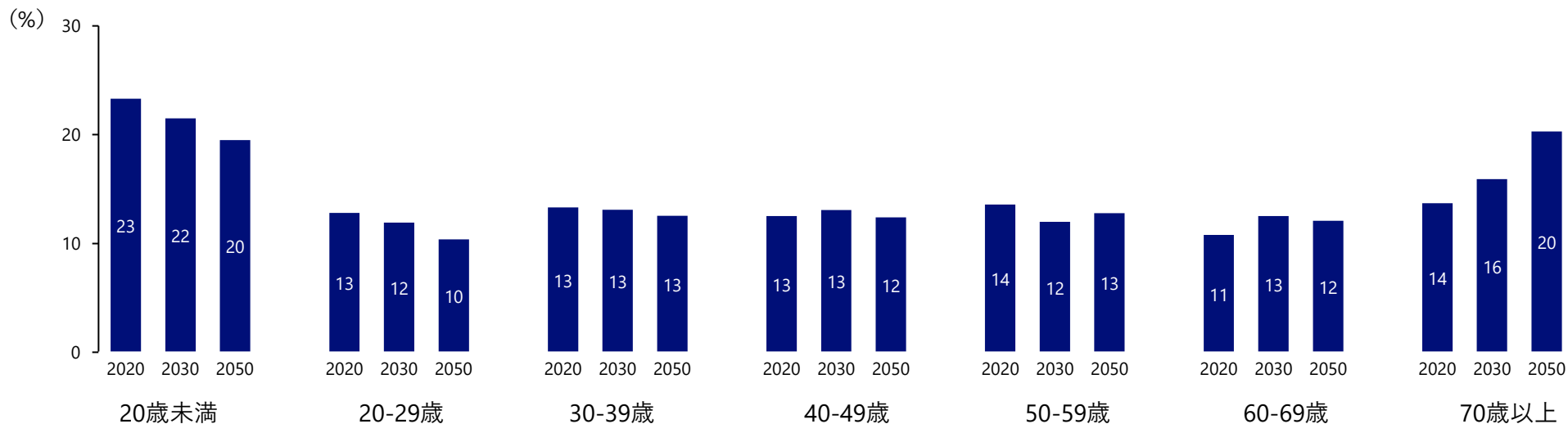
- 「Sport England」によるオンラインツールの開発 (2021年)
 - 文化・メディア・スポーツ省の下部組織であるSport Englandは、2つのデジタルツールを開発した。
 - 地方自治体や国が地域コミュニティに補助金を与えたり、地域コミュニティを理解したりすることを支援するツール
 - スポーツクラブや団体が、より多くの人々の身体活動を促進するためのデジタルマーケティングツール
 - 後者のツールはSport EnglandとGoogleの戦略的パートナーシップにより実現している。

人口動態、および人口成長率・年齢別人口構成

人口動態、および人口成長率



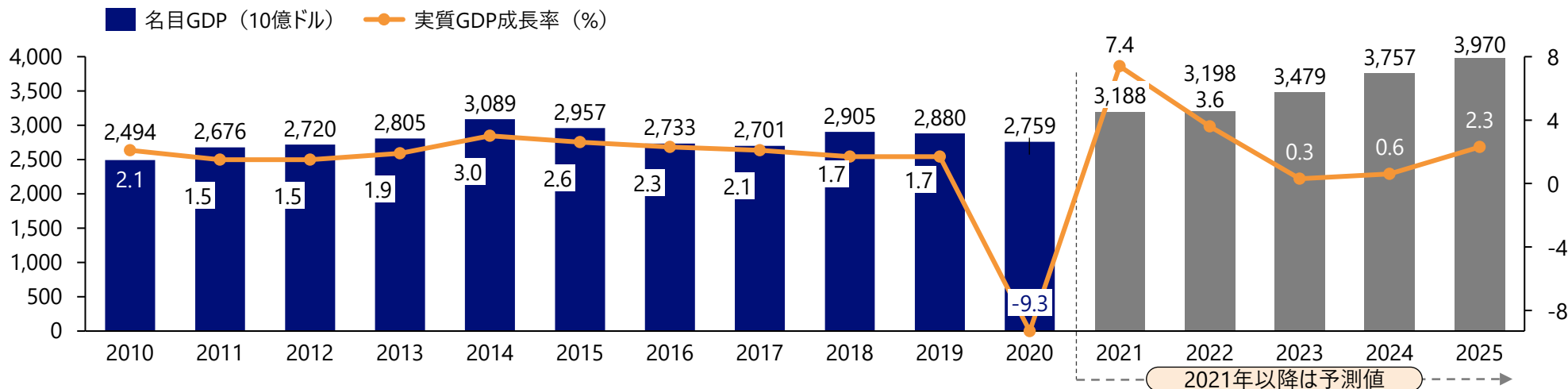
年齢区分別人口割合



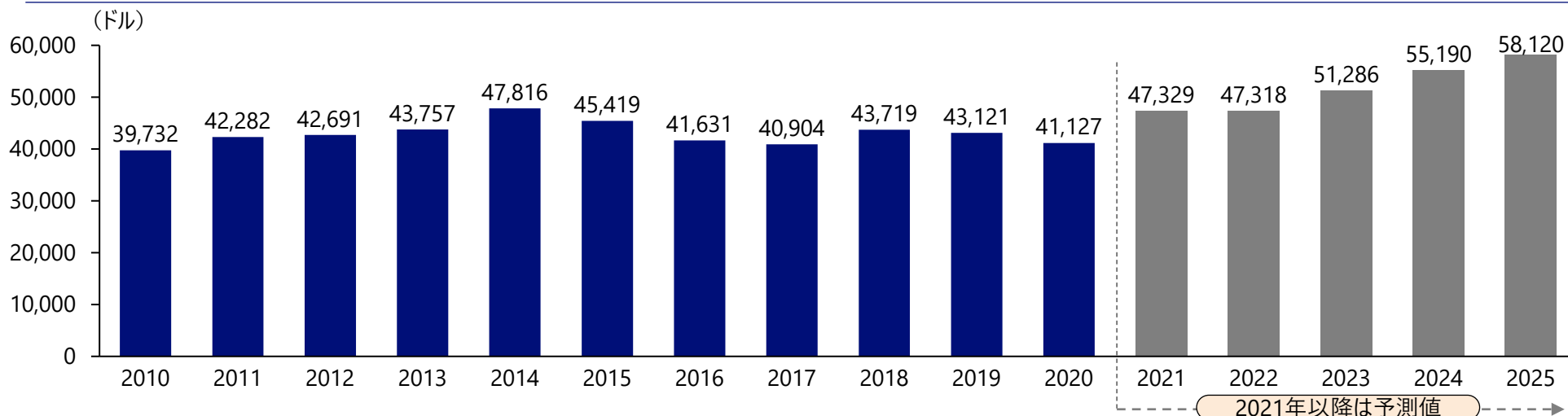
(出所) 世界銀行「World Development Indicators」、国際連合「World Population Prospects」

GDP、GDP成長率、一人当たりGDP

名目GDPおよび実質GDP成長率



一人当たり名目GDP

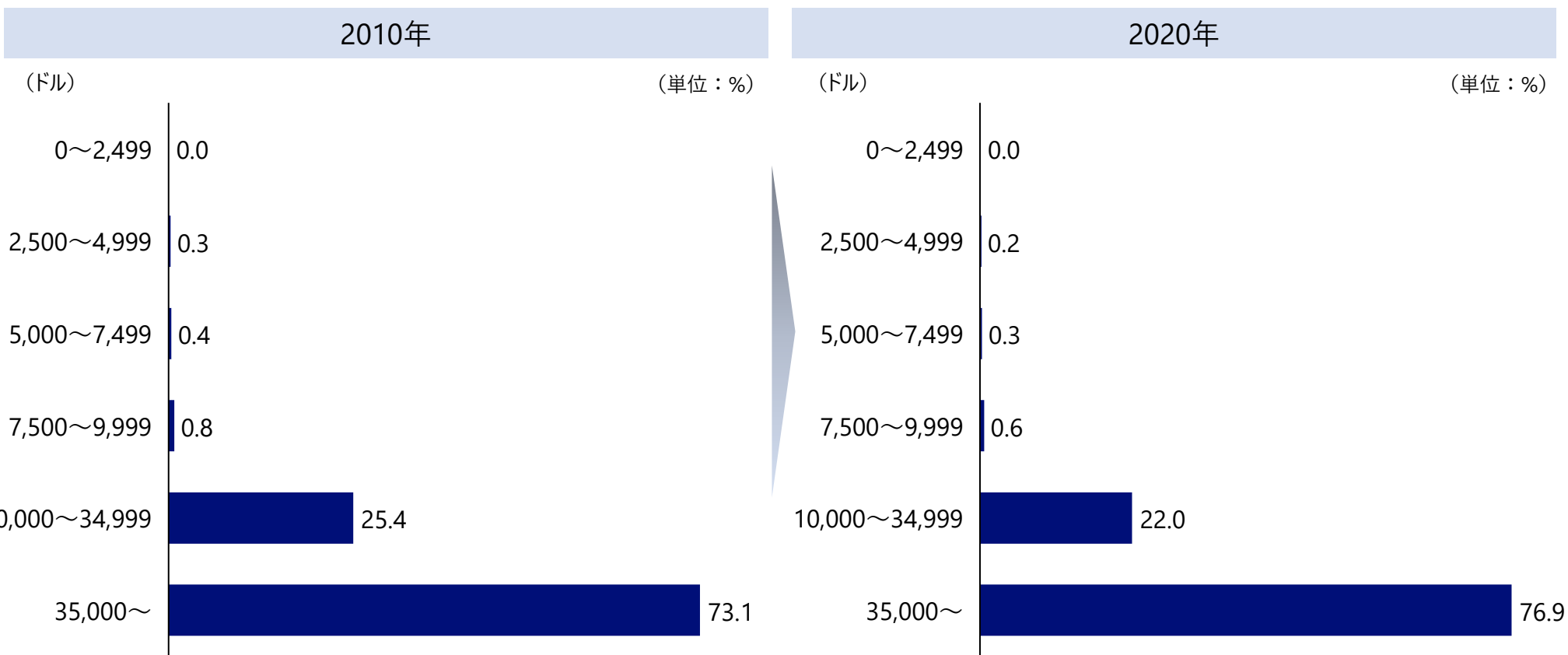


(出所) 国際通貨基金 (IMF) 「World Economic Outlook Database」

世帯所得分布

■ 所得が5,000～34,999ドルである世帯の割合は2010年には73.1%であったが、2020年には76.9%にまで増加した。

世帯所得分布



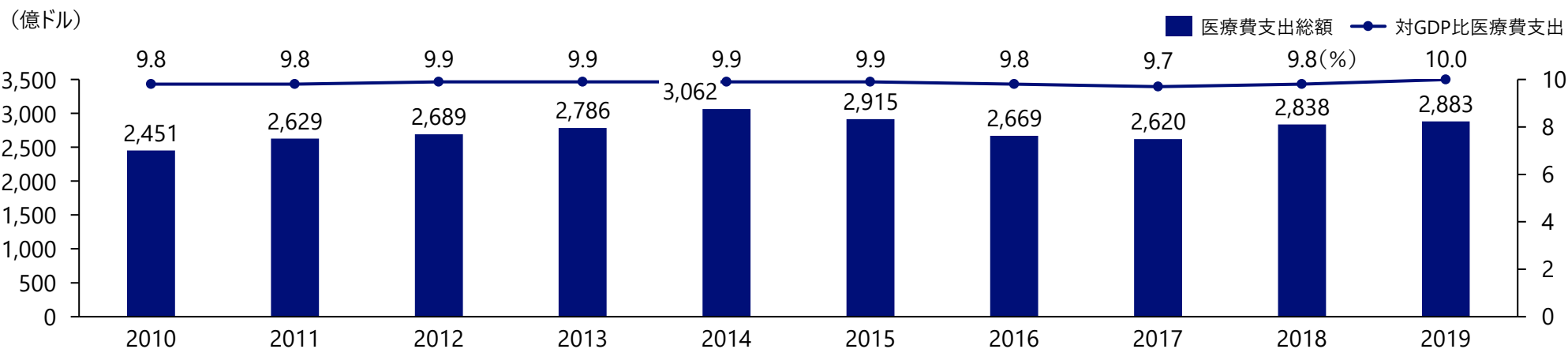
(出所) ユーロモニター

医療費支出

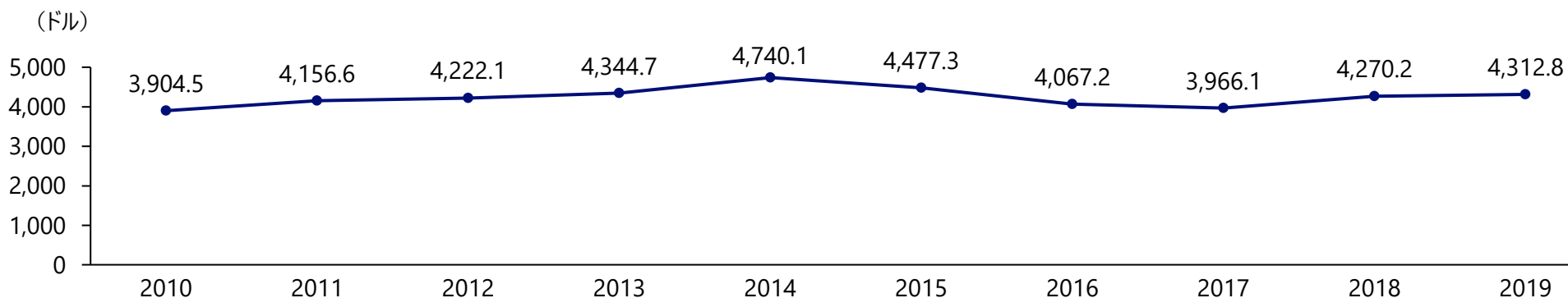
■ 2019年の医療費支出は2,880億ドル（約39兆円）で、対GDP比で10%。

■ 2019年の一人あたり医療費は4,310ドル（約580,000円）。

医療費支出総額と対GDP比医療費支出



一人あたり医療費支出



(出所) 世界保健機関 (WHO) 「Global Health Expenditure Database」

疾病構造・死亡要因

■ 主要疾患（死亡要因）の内訳としては、虚血性心疾患が15%と最も多く、脳卒中、慢性閉塞性肺疾患が多い。

疾病構造（死亡要因）の内訳（2019年）

順位	疾病名	割合
1	Ischemic heart disease（虚血性心疾患）	15.02%
2	Stroke（脳卒中）	8.14%
3	COPD（慢性閉塞性肺疾患）	7.07%
4	Lung cancer（肺がん）	6.89%
5	Lower respiratory infect（下呼吸器感染症）	6.73%
6	Alzheimer's disease（アルツハイマー病）	5.21%
7	Colorectal cancer（結腸直腸がん）	3.90%
8	Prostate cancer（前立腺がん）	2.57%
9	Breast cancer（乳がん）	2.45%
10	Pancreatic cancer（膵臓がん）	1.94%

順位	疾病名	割合
11	Esophageal cancer（食道がん）	1.61%
12	Cirrhosis（肝硬変）	1.61%
13	Atrial fibrillation（心房細動）	1.45%
14	Falls（転倒）	1.45%
15	Urinary diseases（泌尿器疾患）	1.36%
16	Aortic aneurysm（大動脈瘤）	1.36%
17	Parkinson's disease（パーキンソン病）	1.27%
18	Chronic kidney disease（慢性腎臓病）	1.25%
19	Stomach cancer（胃がん）	1.21%
20	Bladder cancer（膀胱がん）	1.16%

運動習慣が発症・進行に関与するとされる疾患群（出所：厚生労働省「健康寿命を延ばそう SMART LIFE PROJECT」）

（出所）保健指標評価研究所（IHME）「Global Burden of Disease Study: GBD」

外資に関する規制

カテゴリ	概要
規制業種・ 禁止業種	<ul style="list-style-type: none"> 【政府による事業の許認可や登録を要する業種】 金融サービス、医薬品、酒類販売・飲食業、鉱業、油田開発、電力、ガス、水道、通信、テレビ放送、廃棄物処理、医療・福祉サービス、賭博、食品販売、養鶏場、酪農場、建設など 外資のみを対象とした禁止業種はない。
出資比率	<ul style="list-style-type: none"> 国家安全保障に関わる17分野における外国企業による合併・買収については政府への届け出が義務付けられている。（「2021年国家安全保障・投資法」） 【通知義務がある17分野】 先端素材、先進ロボット工学、人工知能、民生用原子力、通信、コンピュータハードウェア、政府への重要なサプライヤー、危機管理に関する重要なサプライヤー、暗号認証、エネルギーデータ・インフラストラクチャー、防衛、生物工学、軍民併用技術、量子技術、衛星・宇宙技術、輸送 【通知が必要となる合併・買収の条件は次のとおり】 <ol style="list-style-type: none"> 英国企業の株式または議決権を25%以上取得する場合 既に英国企業の株式・議決権を、25%以上取得している場合は新たにシェアを50%以上に、50%以上取得している場合は新たに75%以上に、引き上げる場合 企業の決議を阻止または可決できる議決権を取得する場合
外国企業の 土地所有の可否	<ul style="list-style-type: none"> 土地の所有は可能。外資のみを対象とした規制なし。
資本金に関する 規制	<ul style="list-style-type: none"> 外資のみを対象とした規制なし。
その他規制	<ul style="list-style-type: none"> 外資のみを対象とした規制なし。